

日本原子力学会  
AESJ-SC-P006 : 2015

原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準 : 2015

正誤表

| No.                 | 頁   | 箇所         | 誤  | 正  |
|---------------------|-----|------------|--|--|
| 3 用語の定義, 略語         |     |            |  |  |
| ①-1                 | 2   | 3.2.1      | 現実的応答の評価手法については, 現実的な建屋・機器などの諸元を用いた地震応答解析を実施する応答解析に基づく方法と, 設計応答値などに <u>応答係数を乗じて</u> 評価する応答係数に基づく方法の2種類がある。 | 現実的応答の評価手法については, 現実的な建屋・機器などの諸元を用いた地震応答解析を実施する応答解析に基づく方法と, 設計応答値などを <u>応答係数で</u> 除して評価する応答係数に基づく方法の2種類がある。 |
| 3 用語の定義, 略語         |     |            |  |  |
| ①-2                 | 6   | 3.22.2     | 設計応答値 <u>又は</u> 応答係数を用いて現実的応答を求め, 得られた現実的応答と現実的耐力からフラジリティ曲線を求める手法。   | 設計応答値 <u>及び</u> 応答係数を用いて現実的応答を求め, 得られた現実的応答と現実的耐力からフラジリティ曲線を求める手法。   |
| 附属書 S (参考) 経年変化の取扱い |     |            |  |  |
| 2                   | 241 | [参考文献] (5) | (独) 防災科学技術研究所, “繰返し <u>曲げ</u> を受ける減肉配管の破損挙動”, 平成 16 年 2 月  | (独) 防災科学技術研究所, “繰返し <u>荷重</u> を受ける減肉配管の破損挙動”, 平成 15 年 9 月  |